



ハンディカムで 運動会を撮ろう!



シーンごとに撮影のポイントをご紹介します。

「ハンディカムで運動会を撮ろう! -撮影編-」でご紹介した内容をクイックガイドにしました。
運動会の会場にプリントアウトして持っていけば、撮影ポイントやテクニックを確認しながら撮影ができます。

memo

.....

.....

.....

.....

.....

.....

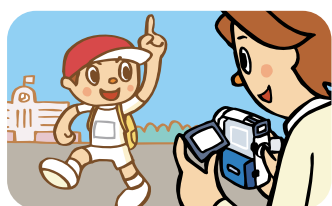


ハンディカムで 運動会を撮ろう！ その1



いよいよ運動会。出発前のインタビューやそれぞれの競技、ランチタイムなど、シーンごとのポイントを確認しながら、楽しい映像を撮りましょう。

会場到着までの撮影チャンス



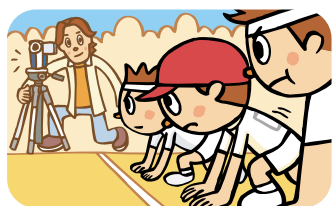
家を出る前にお子さんの意気込みインタビューを撮影しておく、当日のワクワクした感じが出せます。会場に着いたら校門の飾りや会場全体の風景の撮影を行なっておくとさらに運動会の雰囲気が出るはずですよ。

入場行進は表情をアップで



お子さんが観客席の前を通るときは表情をアップで撮影。どこに並んでいるかは事前にお子さんに聞いておきます。テレコンバージョンレンズがあれば離れた場所からも表情が撮りやすくなります。

徒競走はレースの前後も撮影



徒競走はスタート前の緊張の表情、応援する家族、ゴールシーンまでを流れで撮影すると見応えのある映像になります。コース全体が見える位置なら、三脚を使うことで安定した構図から撮影ができるでしょう。

Tips 校庭の確認は 当日に

当日は会場の様子を見ておくため少し早めに出かけましょう。知り合いの保護者と撮影についての情報交換を試みては？

Tips タイトル機能で アクセントを

ハンディカムのタイトル機能は、風景に「運動会」などのタイトルを重ねて表示して撮影できる便利な機能です。映像のアクセントに。

Tips 上手な 撮影のポイント

ズーム機能を強化するテレコンバージョンレンズを使うときは、三脚を併用すると揺れの少ない見やすい映像が撮影できます。なお混雑した場所で三脚を使う場合は、周りの方の迷惑にならないようにするのも大切なマナーです。

ハンディカムで 運動会を撮ろう!

その2



ランチタイムは静止画でも撮影



ランチタイムも運動会の見逃せないワンシーン。食べる姿を撮影する前に静止画で記念撮影をしておくとおアルバム作りにも役立ちます。午後の競技前にバッテリーやテープを交換しておくのもお忘れなく。

団体競技は全体の動きも



団体競技の撮影ではお子さんのアップだけでなく、グループの様子や競技エリア全体も撮影しておくとお内容がわかりやすくなります。撮影サイズをスムーズに変化させるように意識すると見やすい映像が撮影できます。

ダンスは音にもこだわりを



ダンスなどの出し物を撮影するときは、途中で何度も録画をストップしないのがポイントです。音楽が途切れていると全体につながりの悪い映像になりがちなので、競技の最初から最後までを通して撮影しましょう。外部マイクを使えばさらに臨場感あふれる映像が撮影できます。

最後にもう一度インタビュー

得点発表や閉会式を撮影して帰宅したら、お子さんに運動会についての感想をインタビューしてみましょう。どんな感想でもそれはその時一度限りのシーンです。素敵な運動会の思い出になることでしょう。

Tips 静止画撮影も 手前で

リモートコマンドを活用すると、離れた場所からシャッターを切るレリーズ撮影ができます。集合写真の撮影にも便利です。

Tips レポーター気分で セルフ実況

説明の必要な場面では撮影する方が実況しながら撮影すると、会場の雰囲気や音が伝わりやすく、見やすい映像になります。

Tips 得点発表も 忘れず撮影

チームの得点発表は運動会のクライマックス。一喜一憂する子どもたちの表情もズーム撮影でしっかり撮影しておきたいものです。



ハンディカムで 運動会を撮ろう!

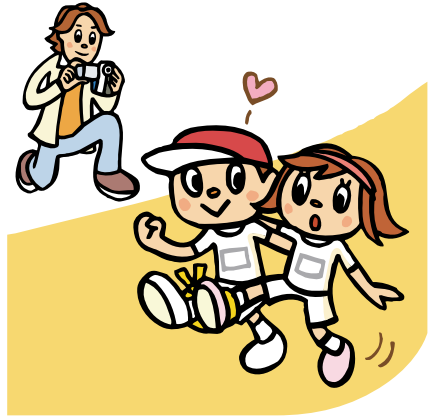
観やすい映像を撮るために

★ 確認してから撮影をスタート

何を撮るかを決めずにカメラのスタートボタンを押してしまうと、どうしても無駄なシーンが増えがち。撮影プランに合わせて映像のアングルなどを大まかに考えておくと、映像が見やすくなります。

★ カメラマンもリハーサル

撮影の前に被写体をきちんととらえているか、ピントが合っているかなどを確認しておく、失敗も少なくなります。特に、徒競走などの動きの早い競技は、ズーミング、パンニングなど、カメラワークの練習をしておく、と良いでしょう。



★ 撮影サイズにメリハリをつける

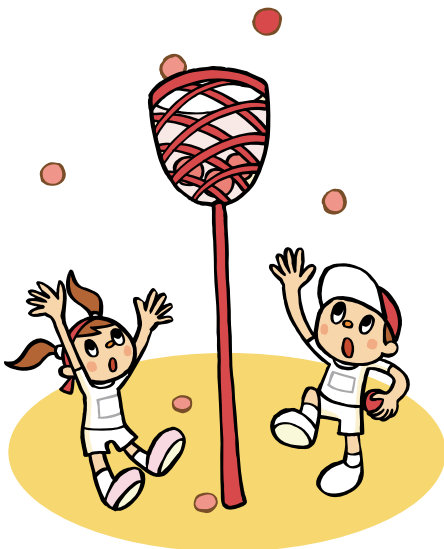
前のシーンをアップで撮ったら次は広い画角(ワイド)で撮影を始めるなど、撮影サイズに変化をつけると、映像のつながりがスムーズに見えます。直前に撮影した映像が数秒間再生される「レックレビュー」も活用したい機能です。

★ パンやズームの終わりは5秒後に

カメラの向きを左右に回すパンや、ズームの直後にいきなり録画を止めると次のシーンへのつながりが落ち着きのなものになりやすいです。パン、ズーム後に動きを止めたら5秒ほどしてから録画を停止するとよ

★ 撮影アングルに変化をつける

応援席の最前列で徒競走などを撮影する場合は、迫力ある映像が撮れるローアングルからの撮影もおすすめです。校舎への立ち入りが許可されているなら、高い場所から会場を見渡すハイアングル映像も撮影できます。



★ エキストラカットにもチャレンジ

お子さんが出場していない競技でも、撮影しておきたいシーンがあります。スターターのピストルのアップなどを撮影しておく、と運動会の雰囲気や時間経過がわかりやすく、表現をより豊かにすることができます。

★ 撮影時のマナーにも注意を

会場の撮影スペースは限られています。観客席の前列では座って撮影する、自分の撮影が終わったら交代するなど、撮影されている他の方と譲り合いながら撮影を行いましょう。三脚などの取り回しにも注意が必要です。